

第 141 回交流フロア運営会議（議事概要）

1 日時・場所

日時：2023 年 1 月 10 日（水）18：30～20：00

場所：伊丹市立図書館ことば蔵 1階交流フロア

2 参加者数 12名

3 会議内容

<新規提案>

（1）第2回 超簡単 人を惹きつける言葉の法則を学ぶ講演会

【概要】

- ・昨年 12 月に開催した「人を惹きつける言葉の法則を学ぶ講演会」の 2 回目。ことばの持つイメージやニュアンスについて解説する。
- ・前回は好評だったことや、ことば蔵でことばに関連するイベントは需要があるのではないかと思います、シリーズ化を検討中。
- ・内容は前回のものに加え、前回紹介しきれなかったことばの法則も紹介したい。
- ・前回取り入れた商品名を考えるワークショップは、時間の都合上省略するかもしれない。

【意見】

- ・第一回との違いは明確にあるのか。
- 前回は主に「あ」の法則について解説した。今回は「い」の法則について話したい。
- ・第一回を聴いていなくても楽しめる内容なのか。
- 第一回と被る部分もあるので、初めてでも楽しめる。また、前回来られた方も楽しめるように、例などを別のものに変えようと思う。
- ・ワークショップのような、学んだことを実践できる場はあったほうが良いと思う。

（2）朗読ライブ「肩の凝らない源氏物語」

【概要】

- ・大河ドラマの影響で注目度が上がっている「源氏物語」の朗読ライブを開催したい。
- ・原文の朗読は CD などでも出ているので、今回は与謝野晶子と田辺聖子による訳を朗読する。
- ・音楽や効果音を使いたいので、図書整理日の開催を希望。
- ・開催時刻は午前中にする予定。

【意見】

- ・音楽や効果音を使わないのであれば、図書整理日以外でも開催できるのではないかと。

→音楽や効果音にはこだわりたい。また、通常の開館日は図書フロアの利用者が交流フロアを通り抜けるため読みにくいかも。できれば図書整理日に開催したい。

・イベント名「肩の凝らない源氏物語」について。どういうところが「肩が凝らない」なのか。

→京都弁が混じった堅苦しくない文章の源氏物語なので、気楽に聴いていただけるよう「肩が凝らない」という言葉を入れてみた。

・大河ドラマの影響で、全く源氏物語を知らない人が来られるかもしれない。

→朗読を始める前に、朗読する章と光源氏について簡単な紹介をしようと思う。

(3) みんなの居場所 新発見！伊丹にこんな居場所があったんだ

【概要】

・伊丹市内で子育て支援、不登校支援、学習支援など、子どもの居場所づくりに取り組んでいる団体を紹介するイベントを開催したい。

・実際に居場所を探している親子や、支援を手伝いたい方が自分に合った団体を見つける助けになることを目指す。

・イベント第一部では、企画者である「からふる いたみこどもネットワーク」について説明する。第二部では、参加者同士で居心地のいい居場所について意見を出し合うディスカッションを開催。第三部では、各団体との個別相談会とする予定。

・第三部の個別相談会では、団体ごとにブースを作って実施。団体の紹介も兼ねる。

【意見】

・第三部では団体ごとにブースを作るとのことだが、どれくらいの団体が参加する予定なのか。交流フロアの広さで全団体のブースを用意できるのか。

・現在、参加協力を各団体にお願いしているところで、多くても10団体ほどになる。ブースとはいっても、長机が一つあれば十分なので交流フロアでも問題ない。

・対象は保護者になるのか。それとも、居場所を探している子ども本人になるのか。

→どなたでも参加いただける。当事者の親子に限らず、支援活動に興味のある人や自分で居場所を開設したい人などにも来てもらいたい。

・支援の対象は子どもだけなのか。昨今は高齢者も居場所がなくて困っている人が多いと聞く。→ゆくゆくは高齢者向けの居場所づくりも進めていきたいが、今のところは子どものみを対象としている。参加対象についてはチラシの書き方を工夫したい。

・実際に悩んでいる人は、交流フロアというオープンな場には来にくいのではないかと。

・時間はどれくらいか。

→1時間半程度を予定している。

・二部のディスカッションは、進行役がいないと参加者だけではしんどいのではないかと。

(4) 第5回すのこでDIY

【概要】

・100均等で買ったすのこを使って、オリジナルの棚を作るワークショップ。

・指定したサイズのすのこを参加者に持参してもらおう。電動工具などはスタッフが用意。見本も出したい。小学生は保護者同伴。

【意見】

・作成する棚は第4回と同じものなのか。

→第4回と同じ棚で考えている。申し込み多数で、前回参加できなかった人も楽しめると思う。

(5) 阪神間の交通史をみんなで語ろう

【概要】

- ・阪神間の交通史について語り合うイベントを開催したい。
- ・2018年に講義形式で開催した際には50人ほどの参加があった。
- ・今回はディスカッション形式で自由にお話ししたいと考えている。
- ・9月のバスの日、10月の阪急創業日など、交通にまつわる記念日近くに開催できると嬉しい。

【意見】

・語り合うということは、参加対象はある程度の知識を持っている人になるのか。

→どなたでも参加はできるが、知識があるとより楽しめると思う。ことば蔵の鉄道関連のイベントは結構人が集まる。マニアックな人が多いのかもしれない。

<イベント報告>

(1) 伊丹の民話を聞いてものづくり体験をしよう

参加者は25人。第一部ではデジタル紙芝居で「二蠟丸」、「野間の一本松のいたずら狐」の二演目を披露した。第二部ではクリスマスにまつわる小物を作るワークショップを親子で楽しんでいただいた。参加された子どもたちが想定していたよりも幼かった。

(2) 超簡単！魅力的な言葉の法則を学ぶ講演会。

参加者は23人。ことばの持つニュアンスや印象についてお話した。定員は20人に設定していたが、予想を超える申し込みがあった。学生や親子での参加もあったため、次回イベントの内容を考える際に考慮したい。

(3) 見えるのに見えない伊丹の空を飛ぶ鳥たち

参加者は18人。趣味で撮影した野鳥の写真を紹介した。参加者が気楽に楽しめるように、映像を作成した。平日の夕方にも関わらず多くの方に来ていただけて嬉しかった。

(4) カエボン部

参加者は3人。テーマ「今年読んだベスト本」について語り合った。次回は1月17日18時30分から、テーマは「災害」で開催。

(5) こども作戦会議 2023 「ことばザー」

参加者は 84 人。半年間子どもたちが準備してきた企画「ことばザー」の本番を決行した。目標の参加人数 150 人には満たなかったが、大人目線で言えば 84 人は凄い数字。子どもたちの頑張りを見る事ができた。

(6) 漫画を語ろう

参加者は 6 人。テーマは「冬に読みたい漫画」。このイベントが紹介された新聞記事を見て参加してくれた方がいた。次回は 1 月 24 日 18 時 30 分。テーマは「新年一発目せっかくだから漫画の名言について語る会」で開催。

4 次回の運営会議 2024 年 2 月 7 日 (水) 18:30~ ことば蔵 1 階 交流フロア